

第28回放射線利用総合シンポジウムのご案内

大阪ニュークリアサイエンス協会と大阪府立大学研究推進機構が主催するシンポジウムが下記のように開催されます。皆さまぜひご参加ください。申し込み方法などは、協会のホームページをご覧ください。

日時：2020年1月20日（月） 10：00～17：00

会場：大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島 4-3-53）

プログラム

開会挨拶 大阪ニュークリアサイエンス協会 会長 松村 孝夫

1. 夏季の放射性セシウム再飛散—バイオエアロゾルの役割
京都大学複合原子力科学研究所 教授 五十嵐 康人
2. 放射線 DNA 修復学と低線量放射線影響
京都大学大学院生命科学研究科 特任教授 小松 賢志
3. [ONSA 賞受賞記念講演]
新規材料開発への放射線利用の開拓推進—金属材料改質合成と高速陽電子装置開発—
大阪府立大学大学院工学研究科 准教授 堀 史説
<昼休憩> (12:20～13:10)
4. 「一家に1枚周期表」に込めた思い
豊田理化学研究所 所長 玉尾 皓平
5. スーパーカミオカンデによるニュートリノ研究の最前線
東京大学宇宙線研究所 教授 中畑 雅行
<休憩>
6. 宇宙用太陽電池の放射線劣化予測と照射試験の重要性
宇宙航空研究開発機構研究開発部門 研究領域主幹 今泉 充
7. 産業用 X 線 CT のしくみと検査・測定、定量化の現状
東芝 IT コントロールシステム株式会社 シニアエキスパート 富澤 雅美
8. 放射線・原子力関連大学の現状とこれから
大阪府立大学研究推進機構 教授 松浦 寛人

閉会挨拶 大阪府立大学 研究推進機構 放射線研究センター長 谷口 良一

< 交流会 >

2019年度大阪ニュークリアサイエンス協会賞（ONSA 賞・ONSA 奨励賞）の募集案内

「大阪ニュークリアサイエンス協会賞」は、広く放射線利用技術の向上を図り、科学技術の振興に貢献していくため設けられました。対象は、関西・北陸地区の企業、学校、研究機関において、放射線に関係する総合的研究、利用の促進と普及又は教育を行い、学術の振興と産業の発展に寄与した方（個人）若しくは団体、又は教育に顕著な貢献をした方（個人）、です。特に顕著な業績を挙げた方又は団体を称える ONSA 賞（年齢は問わない）と、優れた業績を挙げた 40 歳未満の方（個人）を称える ONSA 奨励賞があります。

募集期間は、2019年11月7日から2020年1月31日（当日消印有効）までです。詳しくは、協会ホームページをご覧ください。